



支援センターだより



2010. 4. 発行 vol.66

2010年度の4月号を、お届けいたします。

「元気（村）にいこう」と、楽しみにセンター広場に来てくださる皆さんを迎えていきますよ、思いを一新してプログラムの取り組みをしていきたいと考えています。

小平市子ども家庭支援センターだよりは、
2004年6月号発行から66号を数えました。スタート時の2004年1月～5月までは、プログラムと別の発行でした。センターだよりの間にかわら版を出していたときもありました。これを合体して、今のセンターだよりの形になったのが2005年4月の第6号からです。あっという間の年月のようでもあり、振り返れば思い出尽きないとも言えるくらい、あの方この方お子さんたちの顔が浮かびます。皆さんと共に歩ませていただいたセンターだよりも、新たな4月のスタートです。これからもよろしくお願ひ致します。

新年度に思うこと・・・広場の利用を皆さんと考えたい
子どもの育ち、ママたちの考え、
広場で何ができるかな、広場と子ども家庭支援センターの
応援隊になって一緒に取り組んでくださる方いませんか。
声かけをしていきたいと思ひます。

センターに名前がほしい・・・センターに愛称が付かずにいましたが、
今年こそ、みんなで考えたいなと願っています。
やっぱり「元気」がいいのかな。

センターはいつも大忙しと思われているようです。近頃ほんとに大忙しなのですが、
センターの役目は大きく3つあって・・・

- 広場を通して子育て、人育ち、みんなの思ひを集めながら
ゆっくりゆったり育ちましょう・・・出会いの場
- 講座や企画を通して、子どもへの関わりや発達を学び合っていく・・・学びの場
- いま子どもたちに必要なことはなんでしょう。
親に守られ育まれている、あたたかな家庭の子どもばかりではないのです。
子どもも親も苦しんでいる、それら様々な子どもと家庭の問題に取り組み
支援していく相談業務があります・・・相談・支援の場

これらのことが、センターの中で次々に行われています。スタッフが出たり入ったり、電話が鳴りっぱなしのこともあります。市内の子どもたちの健やかな育ちのために、緊急出動もあるのだなと声援してください。今年度は、こうしたセンターの仕事ぶりも報告したいと考えています。